

# 農学知的支援ネットワークによる科学技術協力モデルの構築

名古屋大学農学国際教育協力研究センター

浅沼修一

## 1. 目的

昨年度参画を表明した大学や研究機関等を中心に、国際協力機関等の協力を得て、事業体としての農学知的支援ネットワーク(JISNAS: Japan Intellectual Support System in Agricultural Sciences)を正式に立ち上げる。ネットワークの設置目的は、(1)大学間及び大学と農業研究機関との連携促進、(2)関係機関によるネットワーク体制の整備、それに(3)具体的な国際協力活動の推進である。この仕組みを活用し、プロジェクト形成やJICA研修事業受入等で協働できる国際協力のための大学間連携を作って、科学技術協力予算の獲得や研修事業の受託などネットワークを活かした具体的な活動に取り組む。それによって、本ネットワークの事業体としての実用性を示し、新たな参画機関を募り、科学技術協力モデルとしての有用性を示す。

## 2. 活動

上記の目的を達成するため以下の活動を行う。

- (1)全国の大学等関係機関から設立準備委員数名とアドバイザー機関を委嘱し、ネットワークの会則、組織運営体制、運営方法や活動内容などの事前検討を行い、正式発足に向けた準備を行う。
- (2)農学知的支援ネットワークの設立総会を開催して、ネットワークを正式に発足させ、事務局体制及びホームページを整備して農学知的支援ネットワークの活動を強化する。
- (3)ネットワークの周知を図り、海外ニーズ調査に基づく案件形成の取り組み事例や国際共同研究・国際協力の先行事例の経験に学び、併せて国際協力への参加の可能性を探るためにオープンフォーラムを開催する。
- (4)大学を訪問してネットワークの周知と参加の勧誘を行う。同時に、国際協力参加やその推進上の課題を調査し、国際協力プロジェクトやJICA研修受託上の問題点や大学に対する支援事項を整理する。
- (5)昨年度実施したリソース・ニーズ調査結果を基に、国内外の共同研究に向けた可能性の追加調査を実施し、国内研修を含む科学技術協力プロジェクトの具体案作成に取り組む。
- (6)国内知的援助リソースと途上国の支援ニーズについて、昨年度に引き続きインタラクティブWebシステムによる調査と未調査地域の大学等の現地調査を実施して、データベースを蓄積してその後の活用に備える。

## 3. 成果

### (1) 期待する成果

- ①JISNASの形成と恒常的な活動の開始によって大学間の連携協力が格段と強化される。
- ②我が国の総力を挙げて国際教育/研究協力の推進、強化に向けた活動をより効果的に推進する体制が整備される。

### (2) 成果物

- ①ネットワークの参画機関リスト、事務局、運営委員会及び活動方針案
- ②国内大学支援方針に関する報告書
- ③科学技術 ODA プロジェクト案件形成調査報告書
- ④国内外の知的援助リソースおよび支援ニーズに関する報告書

# 農学知的支援ネットワークによる 科学技術協力モデルの構築

名古屋大学農学国際教育協力研究センター

## 目的

大学や研究機関の有する科学技術の「知と経験」を国際協力に生かす。



## 農学知的支援ネットワーク(JISNAS)

Japan Intellectual Support Network in Agricultural Sciences

- 大学／大学間、大学／国際農業機関との連携促進
- 関係機関によるネットワーク体制の整備
- 具体的な国際協力活動の推進

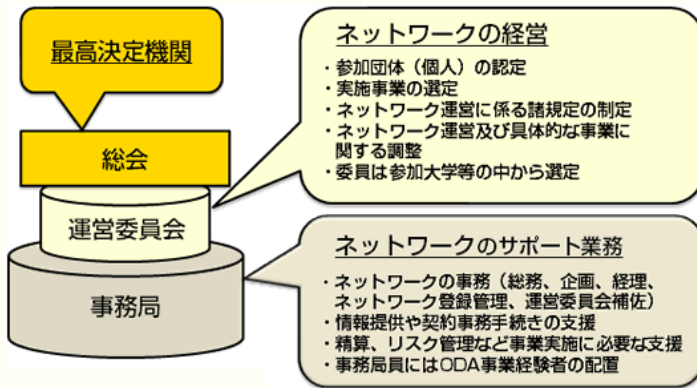
農林畜水産分野の大学 / 研究機関等  
からなる知的支援ネットワークの構築



国内知的援助リソースと途上国援助  
ニーズのデータベース作成・管理



## 活動



- ① JISNAS事務局／組織運営体制／HPの整備
- ② 国際教育協力を志向する大学に対する支援事項の整理
- ③ ネットワークを活かした科学技術協力プロジェクトの具体案作成
- ④ 大学による科学技術協力の先行事例分析による戦略的実施案の検証
- ⑤ 国内リソースと途上国のニーズに関するデータ収集とデータベース構築

## 成果

### ① 農学知的支援ネットワークの設立



### ② 農学知的支援ネットワークホームページ作成



### ③ 国際協力／研究協力プロジェクトの形成



【URL】 <http://jisnas.com/>

平成21年度「国際協カイニシアティブ」国内報告会(2010.02.25)

## 農学知的支援ネットワークによる 科学技術協力モデルの構築

内容

1. 事業の目的
2. 活動の内容
3. 成果物作成に向けた進捗状況

浅沼 修一

名古屋大学農学国際教育協力研究センター



名古屋大学農学国際教育協力研究センター  
International Cooperation Center for Agricultural Education  
Nagoya University



## 事業の目的(1)

### 1. 農学知的支援ネットワークの形成

農林畜水産分野の大学 / 研究機関等  
からなる知的支援ネットワークの構築



#### ●ネットワークの設置目的

- (1) 大学間及び大学と農業研究機関との連携促進
- (2) 関係機関によるネットワーク体制の整備
- (3) 具体的な国際協力活動の推進



名古屋大学農学国際教育協力研究センター  
International Cooperation Center for Agricultural Education  
Nagoya University



## 事業の目的(2)

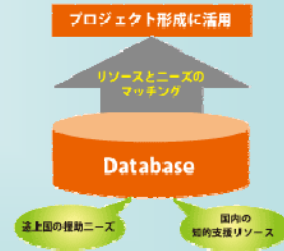
### 2. 科学技術協力モデルの有用性

#### ● ネットワークの活用

- (1) 国内リソース/海外ニーズのDB
- (2) プロジェクト形成、JICA研修事業受け入れの大学間連携
- (3) 科学技術協力予算の獲得、研修事業の受託

事業体として実用性・有用性

国内知的援助リソースと途上国援助ニーズのデータベース作成・管理



名古屋大学農学国際教育協力研究センター  
International Cooperation Center for Agricultural Education  
Nagoya University



## 農学知的支援ネットワークの形成 準備委員会

日時: 2009年7月12日(日) 10:00~13:00

場所: 名古屋大学高等総合研究館カンファレンスホール

#### 1. 準備委員会委員

柏木 純一	北海道大学大学院農学研究院・講師
國分 牧衛	東北大学大学院農学研究科・教授
板垣啓四郎	東京農業大学国際食料情報学部・教授
石川 智士	東海大学海洋学部・准教授
江原 宏	三重大学大学院生物資源学研究科・教授
田中 耕司	京都大学地域研究統合情報センター長
早川 茂	香川大学農学部・教授
緒方 一夫	九州大学熱帯農学研究センター長
山内 章	名古屋大学農学国際教育協力研究センター長

#### 2. アドバイザー

岩井淳武	文部科学省大臣官房国際課国際協力政策室国際協力調査官
鈴木亮太郎	農林水産省農林水産技術会議事務局国際研究課長
小原基文	国際協力機構農村開発部長
中谷 誠	国際農林水産業研究センター企画調整部長

#### 3. 事務局員

浅沼 修一	名古屋大学農学国際教育協力研究センター・教授
槇原 大悟	名古屋大学農学国際教育協力研究センター・准教授
村上 裕道	名古屋大学大学院生命農学研究科・特任教授(JICA出向)
田和 正裕	名古屋大学大学院環境学研究科・特任教授(JICA出向)
花里 信彦	国際協力機構企画部参事役(農学国際教育協力研究センター・客員教授)

## 農学知的支援ネットワークの形成 設立総会



田中耕司運営委員長挨拶



文部科学省・浅井孝司国際協力政策室長祝辞



名古屋大学農学国際教育協力研究センター  
International Cooperation Center for Agricultural Education  
Nagoya University



## 農学知的支援ネットワーク会則

(平成21年11月30日制定)

### (名称)

農学知的支援ネットワーク

Japan Intellectual Support Network in Agricultural Sciences

(JISNAS)

### (目的)

本会は、農学分野における教育・研究・社会貢献等に係わる国際協力活動への参加の意図を有する大学間の連携及び大学と我が国の国際農業研究機関との連携を促進するために設置し、これら関係機関によるネットワーク体制の整備を行い、国際協力活動の推進に資することを目的とする。

### (会員の種別)

本会の会員は団体会員及び個人会員とする。

### (会費)

会費は別途定めることにより徴収することができる。なお、会員の会議出席に必要な旅費等の経費はそれぞれが負担するものとする。

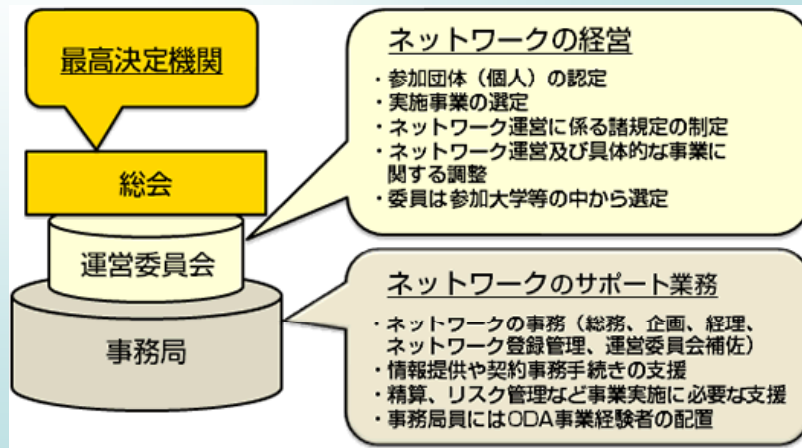
\* 総会の承認を経て、猶予期間を設けることができる。



International Cooperation Center for Agricultural Education  
Nagoya University



## ネットワーク運営組織の構成と役割



名古屋大学農学国際教育協力研究センター  
International Cooperation Center for Agricultural Education  
Nagoya University



## ネットワークの運営体制(1)

### 運営委員会

運営委員長	田中 耕司	京都大学地域研究統合情報センター長・教授
副委員長	山内 章	名古屋大学農学国際教育協力研究センター長・教授
運営委員	柏木 純一	北海道大学大学院農学研究院・講師
運営委員	國分 牧衛	東北大学大学院農学研究科・教授
運営委員	板垣 啓四郎	東京農業大学国際食料情報学部・教授
運営委員	石川 智士	東海大学海洋学部・准教授
運営委員	江原 宏	三重大学大学院生物資源学研究科・教授
運営委員	早川 茂	香川大学農学部・教授
運営委員	緒方 一夫	九州大学熱帯農学研究センター長・教授

(順不同・敬称略)



名古屋大学農学国際教育協力研究センター  
International Cooperation Center for Agricultural Education  
Nagoya University



## ネットワークの運営体制(2)

### アドバイザー機関

- 文部科学省
- 農林水産省
- 独立行政法人 国際協力機構(JICA)
- 独立行政法人 国際農林水産業研究センター(JIRCAS)

### 事務局

事務局長	浅沼 修一	名古屋大学農学国際教育協力研究センター・教授
事務局員	横原 大悟	名古屋大学農学国際教育協力研究センター・准教授
事務局員	村上 裕道	名古屋大学大学院生命農学研究科・特任教授
事務局員	田和 正裕	名古屋大学大学院環境学研究科・特任教授
事務局員	高柳 静香	名古屋大学農学国際教育協力研究センター・事務補佐員
事務局員	位田 桂子	名古屋大学農学国際教育協力研究センター・事務補佐員



名古屋大学農学国際教育協力研究センター  
International Cooperation Center for Agricultural Education  
Nagoya University



## ネットワークの運営体制(3) ホームページの作成

**[URL]** <http://jisnas.com/>



名古屋大学農学国際教育協力研究センター  
International Cooperation Center for Agricultural Education  
Nagoya University

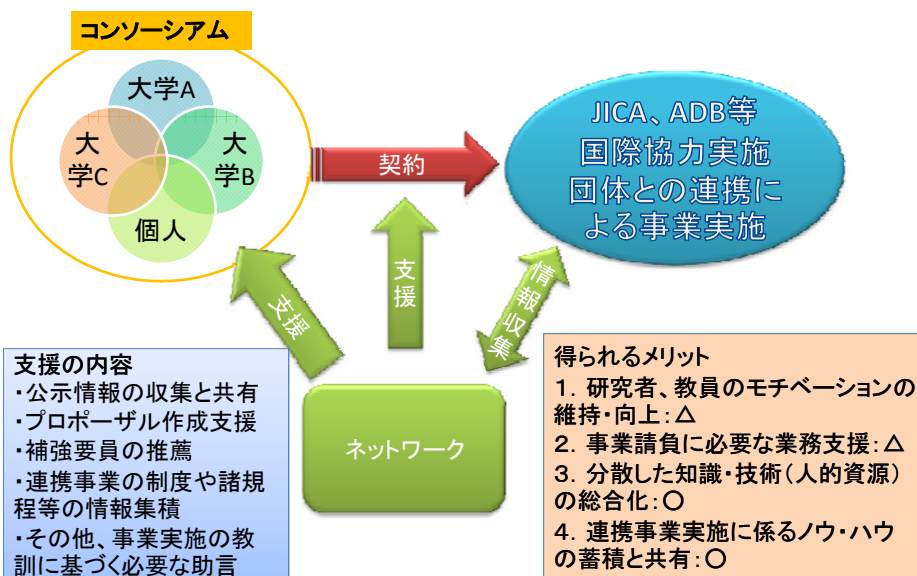


## 想定される活動

本会の目的を達成するため、国内外の大学、関係府省庁及び国際協力実施機関等と協力して以下のような活動を行う。

- (1) 国際協力活動実施に必要な業務支援
- (2) 分散した知識・技術(人的資源)のネットワーク化
- (3) 研究者、教員のモチベーションの維持・向上
- (4) ネットワークの活動による受託事業の促進
- (5) 国際協力活動に対する大学関係者及び一般社会の理解促進
- (6) その他、本会の目的を達成するために必要な活動

## ネットワークの業務範囲





## オープンフォーラムの開催

ネットワークの周知を図り、海外ニーズ調査に基づく案件形成の取り組み事例や国際共同研究・国際協力の先行事例の経験に学び、併せて国際協力への参加の可能性を探る。

農学国際教育協力研究センター第10回オープンフォーラム  
**「国際協力における大学の貢献のあり方：戦略的参画に向けてー農学知的支援ネットワークの設立ー」**

開催年月：2009年11月30日（当初の予定10月8日、9日）

場 所：名古屋大学野依記念学術交流館

参 加：50名（大学、文科省、農水省、JICA、JIRCAS、民間、個人など）

内 容：

- ・基調講演「国際協力における大学の参加とネットワークへの期待」
- ・農学知的支援ネットワークのめざすもの
- ・海外ニーズ調査の成果と案件形成の取り組み
- ・ネットワークの国際協力への参加の可能性（JST, JSPS, JICA, MAFF）
- ・国際共同研究・国際協力の経験に学ぶ
- ・パネルディスカッション：大学間連携の問題点とその解決に向けて



名古屋大学農学国際教育協力研究センター  
 International Cooperation Center for Agricultural Education  
 Nagoya University



## 国際研究協力・教育協力事業の例

ーネットワークの活動による受託事業の促進ー

### 1. JICA: 課題別集団研修関係（文科省枠2つ）

案① 稲研究研修； 案② 地域産学連携研修（一村一品）

### 2. JICA: 留学生無償 留学生の受入 ex. アフガニスタン、CARD関係

### 3. JICA: ラオスパイロットプログラム（JICA-ASEAN連携）

### 4. JST/JICA: 地球規模課題対応国際科学技術協力事業

環境・エネルギー分野（気候変動、低炭素社会の実現、地球規模の環境課題）

生物資源分野（生物資源の持続可能な生産・利用）

防災分野（開発途上国のニーズを踏まえた防災科学技術）

感染症分野（開発途上国のニーズを踏まえた感染症対策研究）

### 5. JSPS/JICA: 科学技術研究員派遣事業

海外からの要請に基づく研究員（ポストドク研究員含む）の派遣

### 6. 農林水産省: 地球規模課題国際研究ネットワーク事業

① 国際研究ネットワークの形成等の推進； ② 国際共同研究等の推進

**(農林水産省)**  
**地球規模課題国際研究ネットワーク事業(新規)**

[http://www.s.affrc.go.jp/docs/research\\_international/2010/net\\_2010.htm](http://www.s.affrc.go.jp/docs/research_international/2010/net_2010.htm)

1. 国際交流・国際協力(途上国・先進国)
2. 国際研究ネットワークの形成等の推進 (6myen/y, 5years)  
国内センター機関を設置して、①国際研究分野における技術的な目利き、将来予測、②国際研究に関するシンポジウム(国際共同研究テーマの提案など)、③コンソーシアムの研究成果等の普及
3. 国際共同研究の推進 \* JST-JICAとはやり方が違う。(20 myen/y/subject, 3years)

日本 コンソーシアムを形成:ハブ機関(国内研究機関)と参加研究機関

共同研究対象国 現地視察、情報収集、国際ワークショップ

研究テーマ例 (下記の分野における技術開発)

- ・食料安全保障分野 我が国の食料安全保障に貢献する技術開発
- ・環境・資源分野 温室効果ガスの排出削減・吸収、バイオマス資源の持続的生産・活用

**参加大学・研究機関等(見込みを含む)**

大学・研究機関名	部局名
北海道大学	大学院農学研究科
東北大学	大学院農学研究科
筑波大学	大学院生命環境科学研究科
政策研究大学院大学	FASID/GRIPS International Development Studies Program
東京農業大学	国際協力センター
東海大学	海洋学部
名古屋大学	大学院生命農学研究科
	大学院国際開発研究科
	農学国際教育協力研究センター
三重大学	大学院生物資源学研究科
京都大学	大学院アジア・アフリカ地域研究研究科
	アフリカ地域研究資料センター
	大学院農学研究科
鳥取大学	農学部
香川大学	農学部
九州大学	熱帯農学研究センター
	大学院農学研究科
宮崎大学	農学部
鹿児島大学	理学部
J-FARD (持続的開発のための農林水産国際研究フォーラム)	
アジア経済研究所	アフリカ研究グループ

Nagoya University

## 参加大学・研究機関等(見込みを含む)

大学・研究機関名	部局名
北海道大学	大学院農学研究院
東北大学	大学院農学研究科
筑波大学	大学院生命環境科学研究科
政策研究大学院大学	FASID/GRIPS International Development Studies Program
東京農業大学	国際協力センター
東海大学	海洋学部
名古屋大学	大学院生命農学研究科
	大学院国際開発研究科
	農学国際教育協力研究センター
三重大学	大学院生物資源学研究科
京都大学	大学院アジア・アフリカ地域研究研究科 アフリカ地域研究資料センター
神戸大学	大学院農学研究科
鳥取大学	農学部
香川大学	農学部
九州大学	熱帯農学研究センター
	大学院農学研究院
宮崎大学	農学部
鹿児島大学	理学部
J-FARD (持続的開発のための 農林水産国際研究フォーラム)	
アジア経済研究所	アフリカ研究グループ

(順不同)

## 大学訪問

- ネットワークの周知と参加の勧誘
- 国際協力参加やその推進上の課題の調査
- 国際協力プロジェクトやJICA研修受託上の問題点
- 大学に対する支援事項の整理

京都大学  
鹿児島大学  
東海大学農学部  
東北大学  
山形大学  
新潟大学  
帯広畜産大学  
岩手大学  
鳥取大学  
宮崎大学  
琉球大学

神戸大学  
大阪府立大学  
近畿大学  
岡山大学  
広島大学  
山口大学  
香川大学  
愛媛大学  
高知大学



## そのほかの活動

1. 海外ニーズ調査に基づく案件形成  
インドネシア マラリア感染症の事例  
ベトナム 稲品種育成と普及の事例  
バングラデッシュ JICA事業2件



2. 海外ニーズ調査  
一訪問調査とインタラクティブWebシステム一  
マダガスカル  
ウガンダ  
カンボジア  
バングラデッシュ



名古屋大学農学国際教育協力研究センター  
International Cooperation Center for Agricultural Education  
Nagoya University



## 成果および成果物

### (1) 期待する成果

- ①JISNASの形成と恒常的な活動の開始によって大学間の連携協力が格段と強化される。
- ②我が国の総力を挙げて国際教育/研究協力の推進、強化に向けた活動をより効果的に推進する体制が整備される。

### (2) 成果物

- ①ネットワークの参画機関リスト、事務局、運営委員会及び活動方針案
- ②国内大学支援方針に関する報告書
- ③科学技術ODAプロジェクト案件形成調査報告書
- ④国内外の知的援助リソースおよび支援ニーズに関する報告書



名古屋大学農学国際教育協力研究センター  
International Cooperation Center for Agricultural Education  
Nagoya University





ゆたかに暮らすために…  
—農業教育を現地で活かす人づくり—

**Japan Intellectual Support Network in Agricultural Sciences  
(JISNAS)**

協働による国際協力  
Think globally, act locally



ご静聴ありがとうございます。

 名古屋大学農学国際教育協力研究センター  
International Cooperation Center for Agricultural Education  
Nagoya University 